



デスクトップオーディオシステム

TSX-70

ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- 本機の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みください。お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要に応じてご利用ください。
- 保証書は、「お買い上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

取扱説明書

安全上のご注意




ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

| | |
|---|--------------------------|
|  | 「ご注意ください」という注意喚起を示します。 |
|  | 「～しないでください」という「禁止」を示します。 |
|  | 「必ず実行してください」という強制を示します。 |

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

電源/電源コード



必ず実行

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。
万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。



プラグを抜く

下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
● 異常なおいや音がる。
● 異常に高温になる。
● 内部に水や異物が混入した。● 煙が出る。
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけない。
● 重いものを上に載せない。
● ステابلで止めない。● 加工をしない。
● 熱器具には近づけない。
● 無理な力を加えない。

芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



必ず実行

必ずAC100V (50/60Hz)の電源電圧で使用する。
それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。

電池



禁止

電池を充電しない。

電池の破裂や液もれにより火災やけがの原因になります。



禁止

電池からもれ出た液には直接触れない。

液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。

分解禁止



分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。

火災や感電の原因になります。
修理・調整は販売店にご依頼ください。

設置



水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。

- 浴室・台所・海岸・水辺
- 加湿器を過度にきかせた部屋
- 雨や雪、水がかかるところ

水の混入により、火災や感電の原因になります。



禁止

放熱のため本機を設置する際には:

- 布やテーブルクロスをかけない。
 - じゅうたん・カーペットの上には設置しない。
 - 仰向けや横倒しには設置しない。
 - 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。
- (本機の周囲に左右10cm、上15cm、背面10cm以上のスペースを確保する。)
- 本機の内部に熱がこもり、火災の原因になります。

使用上の注意



禁止

放熱用の通風孔、パネルのすき間から金属や紙片など異物を入れない。
火災や感電の原因になります。



必ず実行

本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



接触禁止

雷が鳴りはじめたら、電源プラグには触れない。
感電の原因になります。



禁止

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。
水や異物が中に入ると、火災や感電の原因になります。
接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因になります。

手入れ



必ず実行

電源プラグのゴミやほこりは、定期的にとり除く。
ほこりがたまったまま使用を続けると、プラグがショートして火災や感電の原因になります。

注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

電源/電源コード



必ず実行

本機を主電源から完全に切り離すには、電源プラグをコンセントから抜く。
本体の電源ボタンでシステムオフ状態にしても、本機はまだ通電状態にあります。



プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
火災や感電の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因になります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



必ず実行

電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。
差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。



禁止

電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントは使用しない。
感電や発熱および火災の原因になります。



必ず実行

付属のACアダプターを使用する。
それ以外のものを使用すると火災の原因となることがあります。



禁止

ACアダプターは、布や布団でおおったり、つつんだりしない。
熱がこもり、ケースが変型し、火災の原因となることがあります。

電池



必ず実行

電池は極性表示(プラス+とマイナス-)に従って、正しく入れる。
間違えると破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



禁止

指定以外の電池は使用しない。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



禁止

電池を加熱・分解したり、火や水の中へ入れない。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



必ず実行

使い切った電池は、すぐに電池ケースから取り外す。
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



必ず実行

使い切った電池は、自治体の条例または取り決めに従って廃棄する。

設置



禁止

不安定な場所や振動する場所には設置しない。
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。



禁止

直射日光のあたる場所や、温度が異常に高くなる場所(暖房機のそばなど)には設置しない。
本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因になります。



禁止

ほこりや湿気の多い場所に設置しない。
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因になります。



必ず実行

他の電気製品とはできるだけ離して設置する。
本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。



必ず実行

屋外アンテナ工事は販売店に依頼する。
工事には、技術と経験が必要です。

移動



プラグを抜く

移動をするときには電源スイッチを切り、すべての接続を外す。
接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

使用上の注意



必ず実行

再生の前には、音量(ボリューム)を最小にする。
突然大きな音が出て、聴覚障害の原因になります。



禁止

音が歪んだ状態で長時間使用しない。
スピーカーが発熱し、火災の原因になります。



注意

環境温度が急激に変化したとき、本機に結露が発生することがあります。
正常に動作しないときには、電源を入れない状態でしばらく放置してください。



注意

ブラウン管を使用したディスプレイから離して設置する。
色むらが起きることがあります。



必ず実行

外部機器を接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続する。

手入れ



必ず実行

手入れをするときには、必ず電源プラグを抜く。
感電の原因になります。



禁止

薬物厳禁
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。
外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。



注意

年に一度くらいは内部の掃除を販売店に依頼する。
ほこりがたまったまま使用を続けると、火災や故障の原因になります。

目次

| | | | |
|------------------------|---|-----------------|----|
| 各部名称とその機能..... | 2 | ラジオを聴く..... | 7 |
| 基本的な機能..... | 4 | 故障かな?と思ったら..... | 8 |
| iPod™ と外部機器の音楽を聴く..... | 6 | 主な仕様..... | 10 |

■ 特長

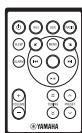
- iPod、iPhone、ラジオ、外部機器を高品質で再生。
- コンパクトなボディながら、2.1ch スピーカーシステム（ツイーター× 2、ウーファー× 1）、
エスアールベース
SR-Bass™（ヤマハシングラジエーターベース技術）と DSP により、しっかりした低音と立体的で広がりのあるサウンドを実現。
- ノブダイヤル、ガイド LED 付きスイッチによる、直感的でわかりやすいユーザーインターフェース。

■ 本書について

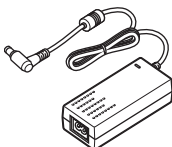
- 本機は iPod と iPhone に対応しています。本文中の iPod という表記は iPhone も含みます。
- 本体とリモコンのどちらでも操作できる場合は、本体での操作を中心に記載しています。

■ 付属品

リモコン

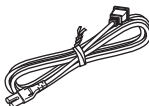


AC アダプター



(DC 15 V、2.66 A、
モデルナンバー：
NU40-2150266-I3)

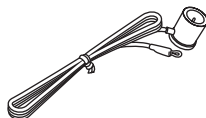
電源コード



ドック
Dock カバー



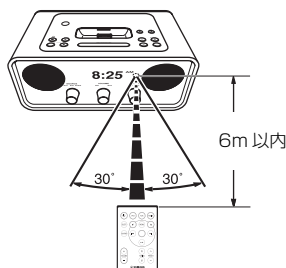
FM 簡易アンテナ



AM ループアンテナ



■ リモコンを使用する

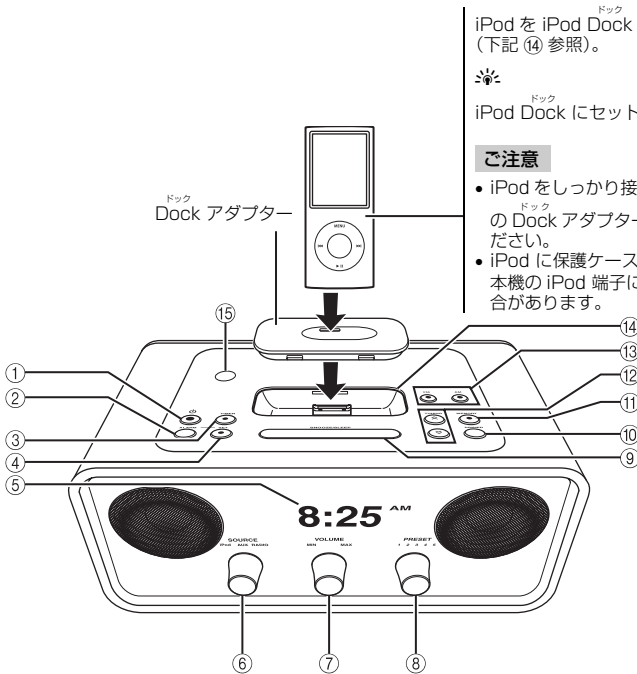


■ リモコンの電池を交換する



各部名称とその機能

■ フロント・トップパネル



iPod を iPod Dock にセットする
(下記 ⑭ 参照)。



iPod Dock にセットすると、充電されます。

ご注意

- iPod をしっかり接続するために、iPod 付属の Dock アダプターを本体にセットしてください。
- iPod に保護ケースなどをつけたままだと、本機の iPod 端子にしっかり接続されない場合があります。

- ① システムオン / オフ切替
システムオフ時にも時刻は表示されます。



- 本体の ボタンを 3 秒以上押し続けると、システムがスタンバイに切り替わります。スタンバイ時には、フロントパネルディスプレイの表示がされなくなり、電力の消費を抑えることができます。スタンバイを解除するには、 ボタンを押します。
- システムオフおよびスタンバイ時でもアラーム機能は作動します。

- ② **ALARM** : アラーム機能オン / オフ切替
(P. 4)

- ③ **TIMER** : タイマー設定 (P. 5)

- ④ **SET** : アラーム設定 (P. 4)

- ⑤ **フロントパネルディスプレイ**

- ⑥ **SOURCE** : iPod、AUX、RADIO 切替

- ⑦ **VOLUME** : 音量調整

- ⑧ **PRESET** : ラジオの放送局を FM/AM それぞれ 5 局まで登録 / 呼出ができます。(P. 7)

- ⑨ **SNOOZE/SLEEP** (P. 5)

- ⑩ **DIMMER** : フロントパネルディスプレイの明るさを調整できます。

A (オート) → 3 (明るい) → 2 → 1 (暗い)
→ A へ戻る



A (オート) に設定した場合、自動的に室内の明るさに適した明るさに調整します。

- ⑪ **MEMORY** (P. 7)

- ⑫ **TUNING** (P. 7)

- ⑬ **FM、AM** : FM/AM ラジオ切替

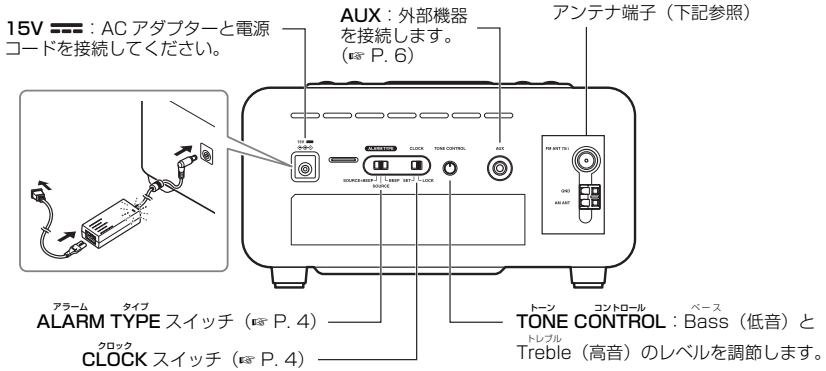
- ⑭ **iPod Dock** : iPod をセットします。



iPod Dock を使用しない時は、Dock カバーをセットしてください。

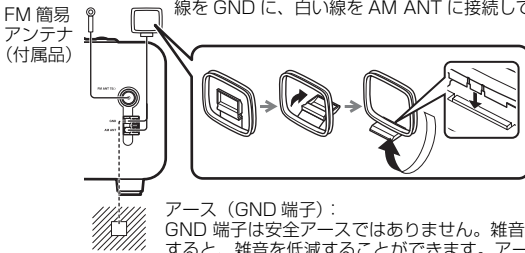
- ⑮ **照度センサー** : 周囲の明るさを感知します。センサーが隠れないようにしてください。

■ リアパネル



■ アンテナの接続

AM ループアンテナ (付属品) : AM ループアンテナの黒い線を GND に、白い線を AM ANT に接続してください。



ご注意

- アンテナはしっかりと張ってください。
- 受信状態が悪い場合は、アンテナの高さや方向、設置場所を変えてください。
- 付属のアンテナの代わりに屋外アンテナを使用すると受信状態が良くなります。

■ リモコン

ソースボタン : iPod、AUX、ラジオ
RADIO 切替。RADIO 選択時に、RADIO ボタンで FM/AM を切り替えることができます。

: システムオン/オフ

スリープ SLEEP : スリープを設定します。(※ P. 5)

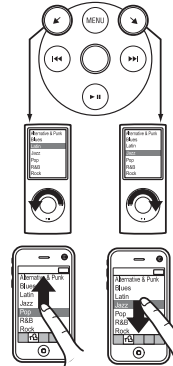
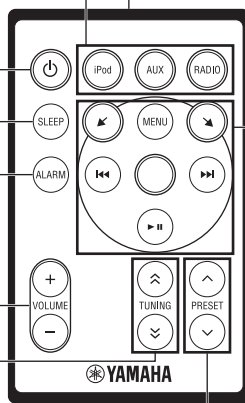
アラーム ALARM : アラームオン/オフ切替 (※ P. 4)

ボリューム VOLUME : 音量調整

チューニング TUNING : ラジオのチューニングをします。(※ P. 7)

赤外線信号送信部

iPod コントロールボタン



絶縁シート : リモコンを使用する前に引き抜いてください。

基本的な機能

時計を合わせる



- 1 **CLOCK** スイッチを **SET** に合わせる。
- 2 **TUNING** ボタンで時刻を合わせる。
- 3 **CLOCK** スイッチを **LOCK** に合わせる。

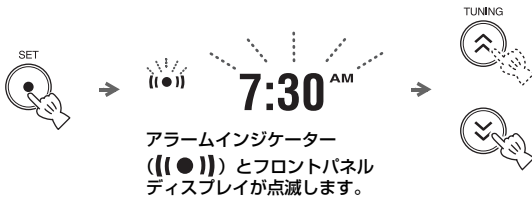
ご注意

電源コードをコンセントから抜くなどで、電力が1週間に1回以上供給されないと、時計の設定はリセットされます。

アラームを設定する

設定した時刻に、お好みの音楽とビープ音を合わせて再生することができます。

■ アラームの時刻、タイプを設定する



- 1 **SET** を押す。
- 2 **TUNING** ボタンでアラーム時刻を設定する。
- 3 **ALARM TYPE** スイッチでアラームタイプを設定する。

- **SOURCE+BEEP** : 選択した音楽ソースとビープ音を再生します。
- 音楽ソース: アラーム時刻の3分前から再生
- ビープ音: アラーム時刻に再生

- **SOURCE** : 選択した音楽ソースを再生します。
- **BEEP** : ビープ音を再生します。

SOURCE+BEEP、**SOURCE** を選択したときは、次に音楽ソースを選択してください。

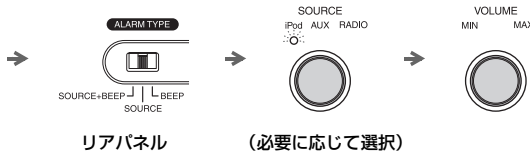
- **iPod** : 最後に聞いていた曲の続きから再生します。
- **RADIO** : 最後に聞いていたラジオ局の放送が流れます。

- 4 アラーム音量を設定する。

- 5 **SET** を押す。
アラームが設定され、アラームインジケータ ((●)) が点灯します。

ご注意

音楽ソースに iPod を選択したときは、iPod を iPod Dock にセットしてください (P. 2)。アラーム時刻に iPod がセットされていない場合、ビープ音が再生されます。



■ アラーム機能をオン / オフにする



アラーム機能をオン / オフにする。

アラーム機能がオンのとき、アラームインジケータ ((●)) が点灯し、アラーム時刻が一定時間表示されます。

アラーム音再生中の操作

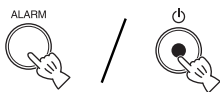
設定した時刻になると、選択したアラーム音が再生されます。再生中は、下記の操作が可能です。

■ スヌーズ機能を使用する




スヌーズ スリープ
SNOOZE/SLEEP を押す。
一時的にアラーム音を停止し、5分後に再びアラーム音を再生します。

■ アラーム音を停止する



アラーム
ALARM もしくは  を押す。

-  アラーム音を停止しないと、60分後に自動的に停止します。
- アラーム音を停止しても、アラーム時刻など設定した内容は保持されます。

スリープを設定する

スリープがオンのときに、自動的にシステムオフになるまでの時間を設定します。



繰り返し押します。



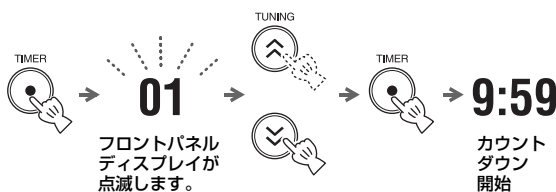
スリープインジケター (ZZZ) とフロントパネルディスプレイが点滅します。

システムオフになるまでの時間を選ぶ。
30、60、90、120分が選択できます。
スリープが設定されると、スリープインジケター (ZZZ) がフロントパネルディスプレイに表示されます。


-  スリープをキャンセルするには、スヌーズ スリープ **SNOOZE/SLEEP** を押します。

タイマーを設定する

カウントダウンタイマーを使用することができます。



- 1 タイマー **TIMER** を押す。
- 2 タイマー音が再生されるまでの時間を チューニング **TUNING** ボタンで設定する。
時間は以下のように設定できます。
1 ~ 15分: 1分刻み
20 ~ 120分: 10分刻み
- 3 タイマー **TIMER** を押す。
カウントダウンが始まり、残り時間が0になるとタイマー音が再生されます。

-  タイマー音を停止するには、タイマー **TIMER** を押してください。
- カウントダウン中にタイマーをキャンセルするには、タイマー **TIMER** を押します。

ご注意

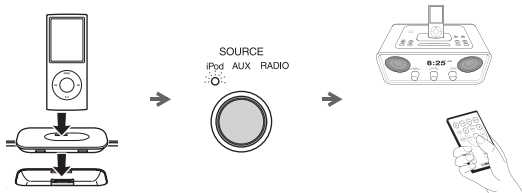
- スリープとタイマーは同時に使用できません。
- タイマーのカウントダウン中にスリープの設定はできません。
- スリープがオンのときにタイマーを設定すると、スリープはオフになります。

iPod™ と外部機器の音楽を聴く

iPod™ を聴く

対応 iPod については、「主な仕様」(P. 10) を参照してください。

■ 再生



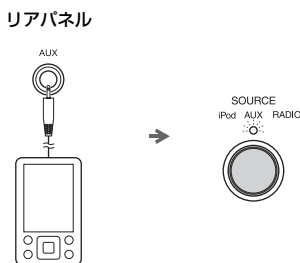
- 1 iPod を iPod Dock にセットする
- 2 **SOURCE** を iPod にする。
- 3 iPod を再生する。
リモコンと iPod のどちらからでも操作
できます。



- iPod はいつでも好きなときに取り外せま
す。
- 本機がシステムオフ時でも、iPod のミュー
ジック/ビデオを再生することで本機は自
動的にシステムオンし、iPod を再生しま
す。
- **SOURCE** が iPod のときに iPod の電源をオ
フにするか、iPod Dock から iPod を取り
外した後、しばらくすると本機は自動的に
システムオフします。

外部機器の音楽を聴く

■ 再生



- 1 ポータブルオーディオ機器を市販の
3.5mm ミニプラグケーブルで AUX
に接続する。

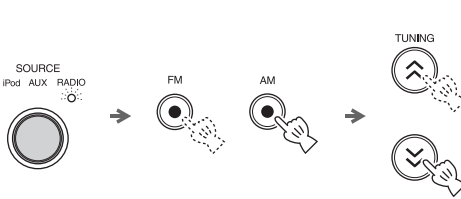
ご注意

接続する前に本機とポータブルオーディオ
機器の音量を十分に下げてください。

- 2 **SOURCE** を AUX にする。
- 3 接続したポータブルオーディオ機器
を再生する。

ラジオを聴く

放送局を選ぶ



- 1 ^{ソース} **SOURCE** を ^{ラジオ} **RADIO** にする。
- 2 **FM**、**AM** を選択する。
- 3 自動チューニング：^{チューニング} **TUNING** を長押しする。

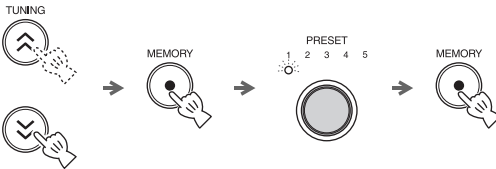
手動チューニング：^{チューニング} **TUNING** を繰り返して押し直す。

ご注意

FM 受信中に手動でチューニングした場合、ラジオの音声はモノラルになります。

放送局をプリセットに登録する

プリセット機能を使って、お好みの放送局を FM/AM それぞれ 5 局まであらかじめ登録できます。



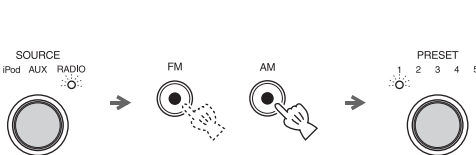
- 1 登録したい放送局を選ぶ。
- 2 ^{メモリー} **MEMORY** を押す。
- 3 登録したいプリセット番号を選ぶ。



プリセットを途中で止めるには、^{チューニング} **TUNING** を押し直してください。

- 4 ^{メモリー} **MEMORY** を押し直して終了する。

登録した放送局を選ぶ (プリセット選局)



- 1 ^{ソース} **SOURCE** を ^{ラジオ} **RADIO** にする。
- 2 **FM**、**AM** を選択する。
- 3 登録した放送局を ^{プリセット} **PRESET** で選択する。

故障かな？と思ったら

使用中に本機が正常に作動しなくなった場合は、まず下記をご確認ください。下記以外で異常が認められた場合や下記の対処を行っても正常に作動しない場合は、本機のシステムをオフにし、電源コードをコンセントから抜いてから、お買上げ店または修理ご相談センターまでお問い合わせください。

全般

| 症状 | 原因 | 対策 |
|---|---|---|
| スピーカーから音が出ない。 | 音量が最小に設定されている。 音楽ソースが正しく選択されていない。 | 音量を調節してください。 正しい音楽ソースを選択してください。 |
| 音が突然出なくなる。 | スリープ (※ P. 5) を設定している。 | 本機のシステムをオンにして再生しなおしてください。 |
| 音割れ、音の歪み、異音がする。 | 入力した音楽ソースの音量が大きい。または本機の音量（とくに低音）が大きい。 | ボリューム で音量を下げるか、 トーンコントロール で低音を調整してください。 |
| 本機が正常に作動しない。 | 本機が落雷や過度の静電気など外部からの強い電気ショックを受けた。 | 本機のシステムをオフにして電源コードを抜いてください。約 30 秒後に電源コードをコンセントに差し、システムをオンにしてください。 |
| システムをオンにしてもすぐにオフになる。 | 電源コードが正しく接続されていない。 | 電源コードが正しくコンセントに接続されていることを確認してください。 |
| | 本機が落雷や過度の静電気など外部からの強い電気ショックを受けた。 | 本機のシステムをオフにして電源コードを抜いてください。約 30 秒後に電源コードをコンセントに差し、システムをオンにしてください。 |
| 周囲に設置しているデジタル機器や高周波機器から雑音が出る。 | 本機とデジタル機器または高周波機器の位置が近すぎる。 | 本機とそれらの機器を離して設置してください。 |
| 時刻の設定内容が消えた。 | 本機への電力供給が 1 週間以上遮断されていた。 | 電力供給が 1 週間以上遮断されると、本機のメモリーに登録された時刻設定が消えてしまうことがあります。この場合は時刻を再度設定してください (※ P. 4)。 |
| アラームのソースに iPod を設定しても、アラーム時刻に iPod が再生されない。 | iPod が、本機の iPod Dock に接続されていない。 | iPod を、本機の iPod Dock にセットしてください (※ P. 2)。 |
| | ALARMS TYPE スイッチが BEEP に設定されている。 | ALARMS TYPE スイッチを SOURCE、もしくは SOURCE+BEEP に設定してください (※ P. 4)。 |
| 時計が点滅していて、操作ができません。 | CLOCK スイッチが SET になっており、時計設定中の状態。 | CLOCK スイッチを LOCK にしてください。 |

iPod™

| 症状 | 原因 | 対策 |
|---------------|--|---|
| 音が出ない。 | iPod が iPod Dock にしっかり接続されていない。 | もう一度しっかり接続しなおしてください。 |
| | イヤフォンが接続されている。 iPod のソフトウェアが最新バージョンになっていない。 | イヤフォンを取り外してください。 アップル社のウェブサイトから最新の iTunes ソフトウェアをダウンロードし、iPod のソフトウェアを最新バージョンにアップグレードしてください。 |
| iPod が充電されない。 | iPod が iPod Dock に正しく接続されていない。 | 一旦 iPod を本機から取り外し、再度 iPod Dock に正しく接続してください (※ P. 2)。 |

FM/AM 放送局の受信

| 症状 | 原因 | 対策 |
|---------------------------------|---|---|
| ステレオ放送になると雑音が多くなる。 | アンテナが正しく接続されていない。 | アンテナが正しく接続されていることを確認してください (※ P. 3)。 |
| | 選択している放送局の電波が弱い、またはお住まいの地域の放送局の受信感度が良くない。 | 手動チューニングで雑音を軽減するか (※ P. 7)、別売りの屋外アンテナを使用してください。 |
| 屋外アンテナを使用しているも受信感度が悪い (音が歪むなど)。 | マルチパス (多重反射) などの妨害電波を受けている。 | アンテナの高さや方向、設置場所を変えてください。 |

リモコンの操作

| 症状 | 原因 | 対策 |
|-----------------|----------------------------|--|
| リモコンで本機を操作できない。 | リモコンの操作範囲外から操作しようとしている。 | リモコンの操作範囲については、「リモコンを使用する」(※ P. 1)を参照してください。 |
| | 本機のリモコン受光部に直射日光や照明があたっている。 | 照明または本機の向きを変更してください。 |
| | 電池が消耗している。 | 新しい電池と交換してください (※ P. 1)。 |
| | リモコンと本機のリモコン受光部の間に障害物がある。 | 障害物を取り除いてください。 |

主な仕様

■ プレーヤー部

iPod

- 対応 iPod..... iPod (第5世代)、iPod classic、iPod nano、iPod touch、iPhone、iPhone 3G、iPhone 3GS

AUX 端子

- 入力端子
.....ステレオ L/R: 3.5 mm ステレオミニジャック

■ アンプ部

- 最大出力..... 4 W + 4 W + 8 W
(6 Ω 1 kHz、10% THD)
- ドライバーユニット..... 4 cm フルレンジドライバー × 2
5.5 cm ウーファー + SR Bass × 1

■ チューナー部

受信周波数範囲

- FM..... 76.0 ~ 90.0 MHz
- AM..... 531 ~ 1611 kHz

■ 総合

- 電源電圧 / 周波数..... AC 100 V、50/60 Hz
- 消費電力..... 10 W
- システムオフ時消費電力..... 1.2 W
- スタンバイ時消費電力..... 1.0 W 以下
- 外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)
..... 210 × 110 × 134 mm
- 質量..... 1.4 kg

仕様、および外観は、製品の改良のため予告なく変更することがあります。

iPod™, iPhone™

iPod は、米国およびその他の国々で登録されている Apple Inc. の商標です。

iPhone は、Apple Inc. の商標です。

「Made for iPod」とは、iPod 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパーによって認定された電子アクセサリーであることを示します。

「Works with iPhone」とは、iPhone 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパーによって認定された電子アクセサリーであることを示します。

アップルは、これらの機器操作または、安全規制基準に関する一切の責任を負いません。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めてご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

お手入れのしかた

キャビネットを美しく保つため、柔らかい布で乾拭きするようにしてください。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただくためのものです。
サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■ ヤマハオーディオ&ビジュアルホームページ

お客様から寄せられるよくあるご質問をまとめておりますので、ご参考にしてください。

<http://www.yamaha.co.jp/audio/>

本機の設置や設定、操作に関するお問い合わせ

■ ヤマハお客様コミュニケーションセンター オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口



0570-011-808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは下記番号におかけください。
TEL (053) 460-3409

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

受付：月～金曜日 10:00～18:00 土曜日 10:00～17:00
(日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ ヤマハ修理ご相談センター



0570-012-808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは下記番号におかけください。
TEL (053) 460-4830

FAX (053) 463-1127

受付：月～金曜日 9:00～18:00 土曜日 9:00～17:00
(日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

修理お持ち込み窓口

受付：月～金曜日 9:00～17:45
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

北海道 〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50
ヤマハセンター内
FAX (011) 512-6109

首都圏 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX (03) 5762-2125

浜松 〒435-0016 浜松市東区和田町200
ヤマハ(株)和田工場内
FAX (053) 462-9244

名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2丁目1-2
ヤマハ(株)名古屋倉庫3F
FAX (052) 652-0043

大阪 〒564-0052 吹田市東芝町10-28
オーク江坂ビルディング2F
FAX (06) 6330-5535

九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2丁目11-4
FAX (092) 472-2137

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

● 保証期間

お買い上げ日から1年間です。

● 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

● 修理料金の仕組み

技術料 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

● 部品代

修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

● 出張料

製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

● 補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● 製品の状態は詳しく

サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

● スピーカーの修理

スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

● 消耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する消耗部品(下記参照)が使用されています。消耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。

本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に消耗部品を交換されることをおすすめします。

消耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

● 消耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ/リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

今年ご使用の製品の点検を!



愛情点検

こんな症状はありませんか?

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズが変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中区中沢町10-1



© 2009 Yamaha Corporation All rights reserved.

ヤマハ株式会社
Printed in China Y WS68100